日本・モンゴル国交樹立40周年記念映画

モンゴル野球青春記

原作：関根　淳　監督：武　正晴

日本とモンゴルの国交が樹立して40周年を記念して、ミズノスポーツライター賞最優秀に輝いた「モンゴル野球青春記」を映画化したものです。
旧那賀川町が長年にわたり支援してきたモンゴルとの野球による交流が評価され、阿南市での撮影が実現しました。
今、阿南市では、野球によるまちづくりに取り組んでおり、この映画が全国で上映されることにより、「野球のまち阿南」を広くPRできると考えています。

JAアグリあなんスタジアムで、平成10年に大阪市で行われた「第3回アジア AAA 野球選手権大会」の日本対モンゴル戦を再現するシーンの撮影が行われました。

撮影風景

JR阿波橘駅前

牛岐城趾公園

あらすじ

平成5年、主人公・関根　淳（せきね　まこと）は、政治家の秘書・近藤隆行（阿南市出身）と出会い、「モンゴルで野球を教えないか。」と誘われる。意気揚々とモンゴルに向かうが、当時は社会主義から民主主義への移行期で、ウランバートルは騒然としていた。スリ、マンホールチルドレン、失業者など、淳にとって初めて見る光景であった。野球をしている人は全く見つからない。一般のモンゴルの人たちには「野球って何?」と聞かれる始末であった。

途方に暮れること3カ月。ようやく野球をしているモンゴル人を見つける。しかし、みんなが素人であった。野球のルールもわかっていなかった。さまざまな課題を抱えながらも、淳はモンゴルの選手たちに野球を教えていく。さらにモンゴル野球の厳しい現実に直面する。モンゴルで野球をやっても、プロリーグでないので生活ができないのだ。多くの選手たちは貧しかった。しかも、モンゴルのオリンピック委員会は、野球よりサッカーに力を入れていた。

そんな時、徳島県那賀川町（現在は阿南市）の人々がウランバートルに野球場を建設することになり、その熱意に後押しされながら、ピッチャーを日本に留学させるための行動を起こす。

そして、ついに日本で行われるAAAアジア選手権にモンゴルチームが参加できるようになるまでに育て、当時、最強のチームといわれた松坂大輔のチームと淳は対戦することとなるのであった。

モンゴル平原を駆ける選手たち

阿南市先行上映日程（1日3回上映）

平成25年	6月　8日㈯	那賀川社会福祉会館
	6月　9日㈰	羽ノ浦コスモホール
	6月15日㈯	阿南市文化会館夢ホール
	6月16日㈰	阿南市文化会館夢ホール
	7月　7日㈰	阿南市文化会館夢ホール

上映時間（各会場共通）
1回目　13:00～15:00（12:00開場）
2回目　16:00～18:00（15:30開場）
3回目　19:00～21:00（18:30開場）

製作協力券（前売入場券）　大人　1000円　　小人　500円（小学生・中学生）

●**販売場所**　平惣書店　興南スポーツ　タダスポーツ　野球のまち阿南推進協議会　映画「モンゴル野球青春記」上映実行委員会

■問い合わせは　野球のまち阿南推進協議会　映画「モンゴル野球青春記」上映実行委員会
阿南市役所野球のまち推進課内（☎22-1297）へ